

日本共産党

こんにちは 市会議員
南畑さち代 です

2011・11・1

連絡先

453-7758

議会 9月 質問と答弁 「南谷池」の移転は 水利権者の同意が不可欠

計画地のど真ん中

6月議会でも取り上げてきましたが、9月議会での渡辺議員の質問に対する当局の答弁で、「産廃処分場の計画予定地に市が管理する南谷池があること」「池の埋め立てについては、水利権者の同意が不可欠であること」「水利権の放棄は南谷池の灌漑用水を利用した水稲栽培の放棄となること」「同意については関係事業者が求めること」などが明らかにになりました。

(南谷池)



「産廃処分場建設反対」「この池は動かさない」山口連合自治会の横断幕



日本共産党 和歌山市議員
南畑 さち代

市長、視察・調査に行く

私は9月議会で「全国的にトラブルがあり、その事例を視察・調査すべきではないか」と質問。市長は「産廃問題については地元が様々な不安を持っている。私自身、時間やチャンスを見て調査に行きたい」と答弁しました。

産廃処分場新規建設は中止を

安定型

日弁連が意見書を政府に提出

日本弁護士連合会は安定型産廃最終処分場の問題点として、

- ①安定型というが、酸性雨にさらされることにより化学変化を起こし、有害物質を溶出させるプラスチック類やゴムくず、金属くずなどが含まれている。
 - ②各地の処分場で硫化水素ガスが検出されている。
 - ③安定5品目とそれ以外の産業廃棄物の分別が出来ない。殆どの処分場において5品目以外のものが混入している。
 - ④許可取り消しや改善命令、停止命令を受けている事業者がある。
- などを指摘し、2007年8月、こうした事例を踏まえ、安定型産業廃棄物処分場の新規建設を許可をしないよう政府に意見書を提出しました。

日弁連の意見書に対する市長の認識はどうか

「安定型最終処分場での硫化水素ガス事故等を背景に、安定5品目とそれ以外とを完全に分別することは極めて困難であるとの警鐘を鳴らしたものと受け止めている」と、市長は答弁しました。

産廃処分場問題

滝畑をウォッチング

9月24日(土)、日本共産党県議・市議団主催の産廃問題学習会を有功自治会館で開催しました。講師は奈良県山添村の日本共産党・奥谷和夫村議です。奥谷氏は「安定型というが許可されれば、5品目以外の木くずや医療系廃棄物などが捨てられていく所があり水質の汚染を招く。時には煙が立ち昇り火事が発生する。悪臭が広がる」などの危険性について話がありました。

9月25日(日)、産廃最終処分場の計画予定地となっている滝畑のよさを体験しようとして、「滝畑ウォッチング」を地元住民らで計画。約50人が参加。滝畑自治会長の瀧本貞雄さんから「計画を中止させ、すばらしい滝畑を守る」と決意が語られ、地元の方から水にまつわる苦勞話等を聞きした後、計画予定地の真ん中にある南谷池などをウォッチングしました。



(南谷池)

07年8月



日本共産党市会議員団は、6月と9月の定例市議会で滝畑・山口地域への産業廃棄物最終処分場建設の設置計画について、問題点を指摘し、設置計画を許可しないように市に求めました。滝畑自治会と山口連合自治会は、6月に「最終処分場の設置反対」を決議し、市長と議長に要望書を手渡しました。また、9月には「建設反対署名」26,850筆（第一次分）を市長に提出しました。

産廃最終処分場の設置計画 市長は「許可」するな！

【計画概要】市北部の滝畑・山口地域の森林18haを伐採し、5品目（廃プラ、コンクリート、金属・ゴム・ガラスくず）を290万m³埋め立てる最終処分場

問題だらけの「産廃計画」

問題点3

市外・県外から持ち込み、大量の産廃の捨て場に！

290万m³の最終処分場は、和歌山市の年間最終処分量、5品目5万トンの58年分にもなります。市外、県外から大量の持ち込みが問題です。

問題点2

「飲み水」不安。滝畑浄水場、取水口の真上を埋め立て

「安心安全」の飲み水の確保のため、市には、取水口と滝畑浄水場の管理責任があります。埋め立て地は、飲み水の集水域にあたり問題です。

問題点1

「洪水」が不安！森林伐採が甲子園の4倍も

面積18haは、甲子園の4倍以上で県下最大の最終処分場です。森林を伐採して埋め立てる計画は、「保水力、洪水」などが問題です。

産廃野ざらし



今年2月、取り消し処分を受けた紀の川市粉河の産廃最終処分場（滝畑と同型）。産廃が「野ざらし」状態で半年以上も放置。

阪南市、岩出市が「要望」を提出

隣接する阪南市は、産廃事業者が山中川（滝畑川の下流）の水利組合ら地元住民の「同意」をとること、さらに岩出市長は、隣接する岩出市住民への説明を要望しています。